

新型コロナウイルスなど予測困難な時代であるという社会的背景がある。このような時代に対応する力をもつ教師が求められており、常に学び続ける教師でありたい。

私は、ICTを活用して生徒に知識を活用させる授業を行う。従来の一方的に知識を得るだけの授業ではなく、知識を活用した授業実践が求められているからだ。生徒の生きる力を育むため、今一層教師が学び続けることが必要であると考えます。

これからの社会を担う生徒が、予測困難な時代を生き抜くために知識を活用し課題解決能力を意図的に身につけさせたい。そして、教育的愛情をもって深みのある教育活動を行なっていきたい。

グローバル化や少子高齢化、科学技術の発展により人生設計や雇用形態、労働環境などが大きく変化している。この背景において「学び続ける教師」とは、時代とともに変化する新たな学びや、教科・教職に関する専門的知識についての学びと実践を往還しながら成長し続ける教師であると考えます。学び続ける教師として、私は以下の取組を行う。

一つは、書籍や新聞、講座から社会の現状や見通し、求められている人材像を学び続けることである。経済界第一線の人々の考えや日本・世界の情勢を学び、今後社会で生き抜ける力とは何かを日々考え更新し続ける。

次に、新しい教育実践について学び続け積極的に取り入れ挑戦する。現在はルーブリック評価で生徒の学習効果を確認しながらICT活用や学び合いを取り入れた授業の実践と改善を繰り返している。

今後も教師としての学びを止めず、生徒のどんな時代にも生き抜ける力を育みたい。